

RYOBI

リョービ株式会社

2020年12月期 第2四半期
決算の概要

2020年8月6日



目次

RYOBI

- | | |
|------------------------|-------|
| 1. 決算のポイント | P. 3 |
| 2. 2020年12月期第2四半期 決算実績 | P. 6 |
| 3. 新型コロナウイルス感染症の影響 | P. 16 |

1. 決算のポイント

決算のポイント(1)

1. 決算のポイント

RYOBI

➤ 連結業績 減収・減益 (対前年比)

(ダイカスト)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大幅な減収

国内売上は国内需要、海外向け製品の受注が減少

海外売上は米国、英国、中国、タイ、全ての拠点で減少

3月以降中国市場を中心に回復の動きもみられるが、事業全体では大幅な減益

(住建機器)

国内・海外ともに減収 利益は原価低減、経費削減等により増益

(印刷機器)

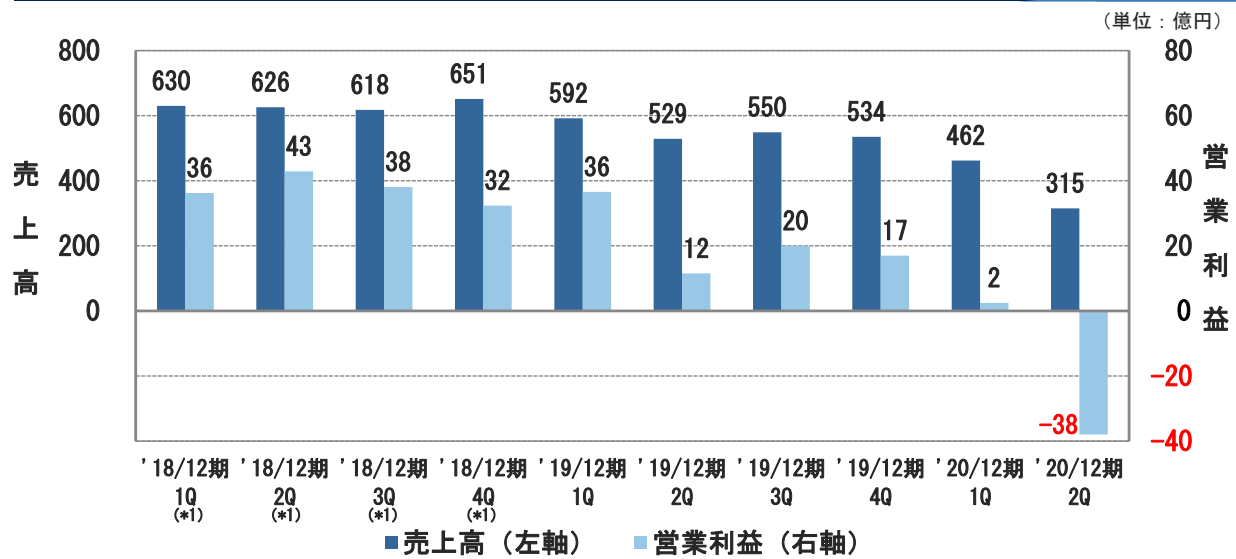
国内・海外ともに減収 中国向け輸出が大きく減少

原価低減や生産性向上等では補いきれず減益

➤ 2020年12月期予想は未定

現時点では算定が困難 今後の動向を見極めながら算定出来次第速やかに公表

四半期別業績推移



- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、'20/12期第1四半期より主に中国売上高が減少
- 第2四半期では国内外すべての拠点で大きな影響有
- 四半期での営業損失は'10/3期第2四半期以来

*1 '18/12期 各四半期は、'19/12期に合わせた期間の実績

2. 2020年12月期第2四半期 決算実績

(単位：億円)

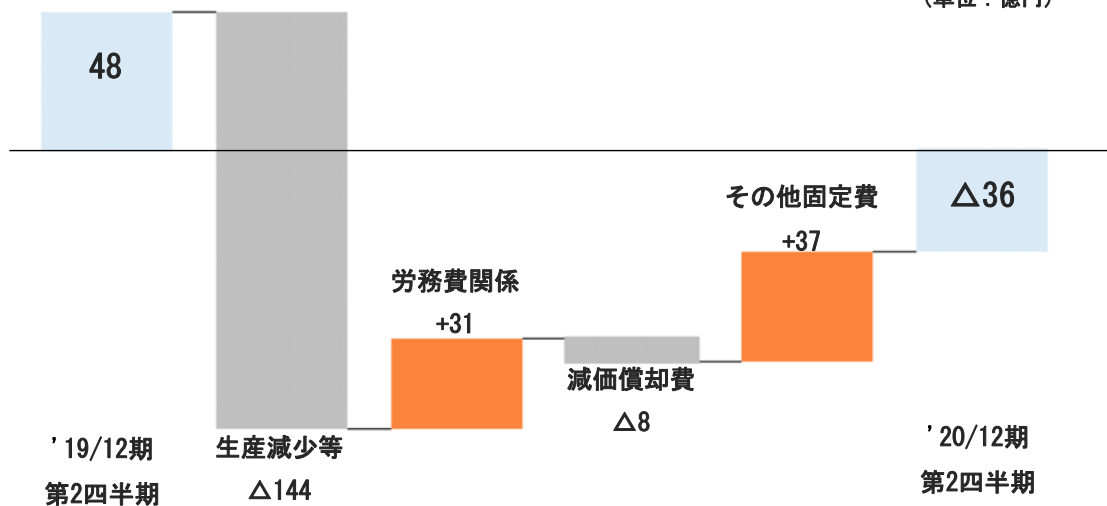
	'19/12期 第2四半期	'20/12期 第2四半期			
	実績	実績	前期差 (前期比)	業績予想	業績予想差 (業績予想比)
売上高	1,121	777	△344 (△30.7%)	767	10 (1.3%)
営業利益	48	△36	△84 (-)	△50	14 (-)
経常利益	48	△28	△76 (-)	△48	20 (-)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	37	△17	△54 (-)	△33	16 (-)

7/20

営業利益増減要因

2. 2020年12月期第2四半期決算実績

(単位：億円)



為替レート (期中平均)

その他固定費の主な内訳
 水道光熱費 △9億円
 消耗品費 △8億円
 修繕費 △4億円

	'19/12期 第2四半期	'20/12期 第2四半期
米ドル	109.71円	107.82円
英ポンド	142.22円	137.36円
中国元	16.18円	15.31円
タイバーツ	3.47円	3.41円

8/20

セグメント別実績

2. 2020年12月期第2四半期決算実績



(単位：億円)

	'19/12期 第2四半期	'20/12期 第2四半期			
	実績	実績	前期差 (前期比)	業績予想	業績予想差 (業績予想比)
売上高	1,121	777	△344 (△30.7%)	767	10 (1.3%)
ダイカスト	953	646	△306 (△32.1%)	640	6 (1.0%)
住建機器	51	47	△4 (△8.2%)	47	△0 (△0.6%)
印刷機器	117	83	△34 (△28.8%)	80	3 (3.8%)
営業利益	48	△36	△84 (-)	△50	14 (-)
ダイカスト	44	△35	△79 (-)	△45	10 (-)
住建機器	2	4	1 (51.5%)	2	2 (86.0%)
印刷機器	1	△4	△5 (-)	△7	3 (-)

9/20

貸借対照表

2. 2020年12月期第2四半期決算実績



(単位：億円)

	'19/12期	'20/12期 第2四半期	増減	うち 為替影響		'19/12期	'20/12期 第2四半期	増減	うち 為替影響
流動資産	1,125	1,063	△62	△13	流動負債	900	773	△126	△11
現預金	225	244	18	△3	仕入債務	357	231	△126	△2
売上債権	412	337	△75	△4	短期借入金	325	374	49	△8
有価証券	8	8	△0	△0	その他	218	168	△49	△2
棚卸資産	452	444	△8	△5	固定負債	436	527	90	△5
その他	29	30	2	△1	長期借入金 (社債含む)	294	399	105	△4
固定資産	1,506	1,473	△33	△20	その他	142	128	△15	△1
有形固定資産	1,216	1,215	△1	△19	株主資本	1,181	1,153	△28	△0
無形固定資産	37	37	△0	△0	その他の包括 利益累計額	24	△5	△29	△17
投資その他の 資産	253	221	△32	△1	非支配株主持分	91	88	△2	-
繰延資産	0	0	△0	-	純資産合計	1,296	1,237	△59	△17
資産合計	2,632	2,537	△95	△33	負債・純資産 合計	2,632	2,537	△95	△33

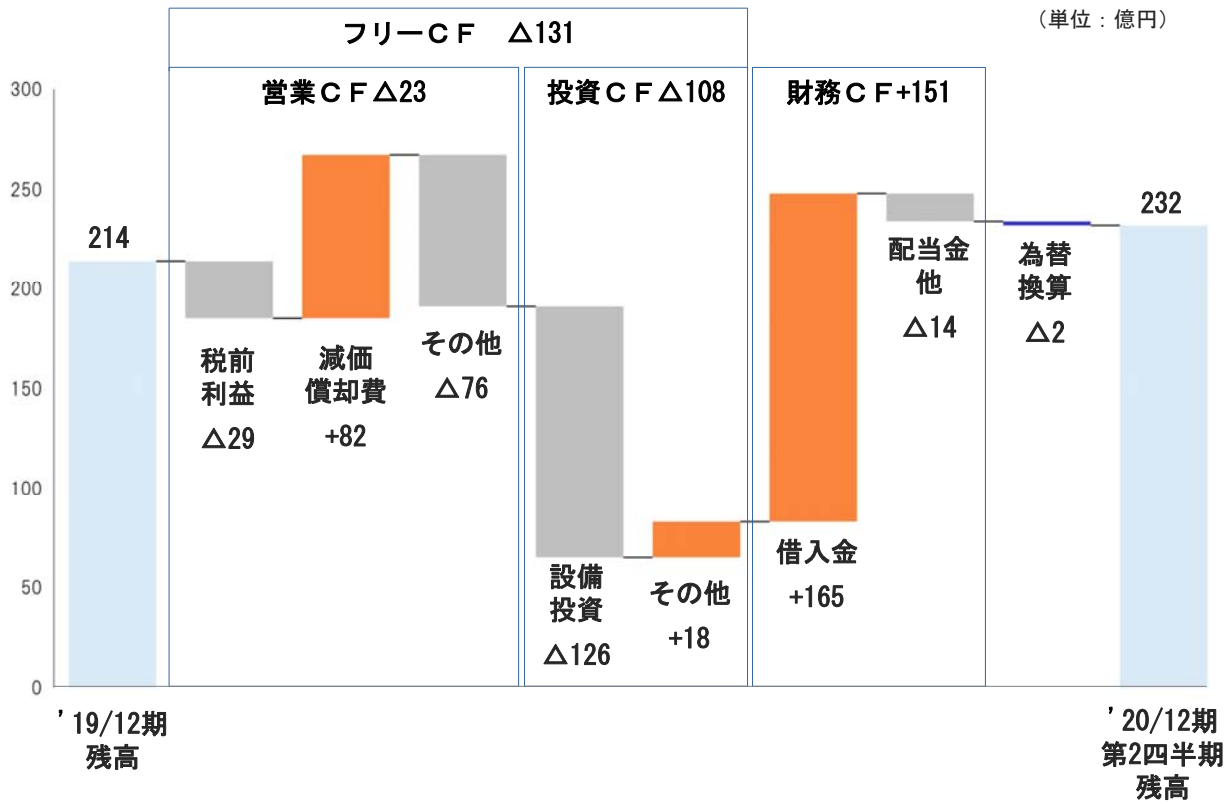
- 売上高減少により、売上債権・仕入債務は大きく減少
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し手元資金を積み増し 借入金増加
- 総資産減少のうち、為替影響により33億円減少

為替レート (期末日)	米ドル	英ポンド	中国元	タイバーツ
'19/12期	109.56円	143.48円	15.67円	3.63円
'20/12期第2四半期	107.74円	132.51円	15.23円	3.49円

10/20

キャッシュフロー増減

2. 2020年12月期第2四半期決算実績



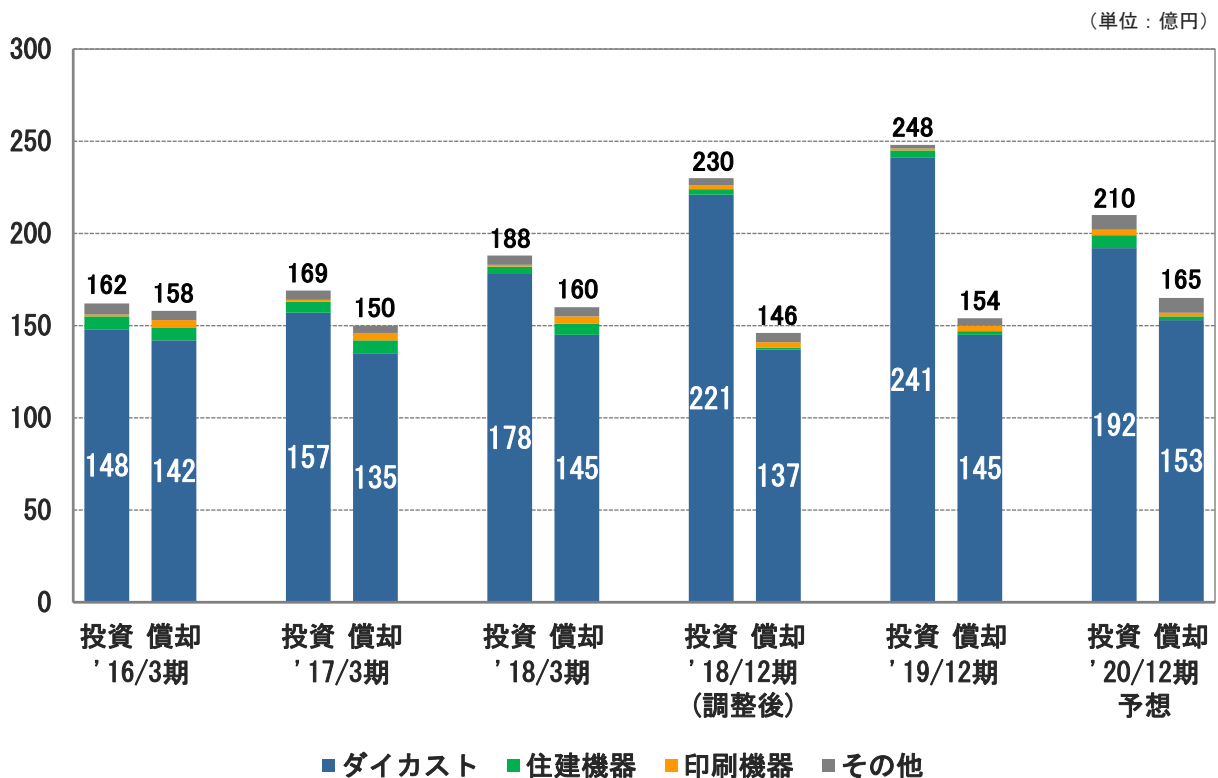
11/20

設備投資・減価償却費

2. 2020年12月期第2四半期決算実績

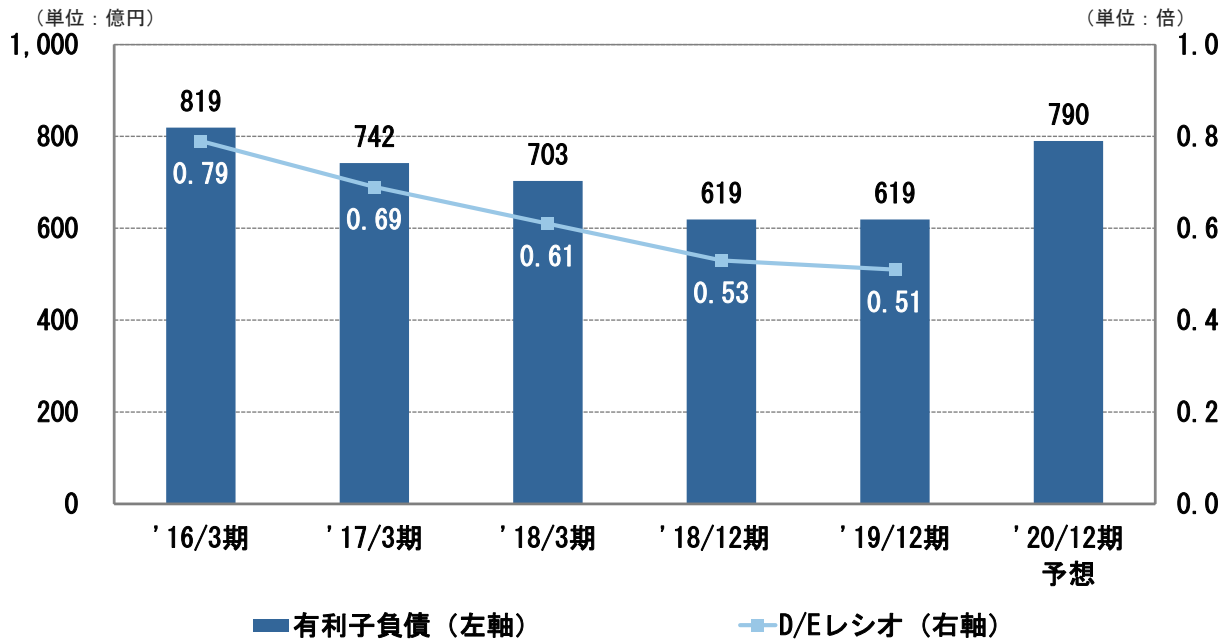


設備投資・減価償却費の推移



12/20

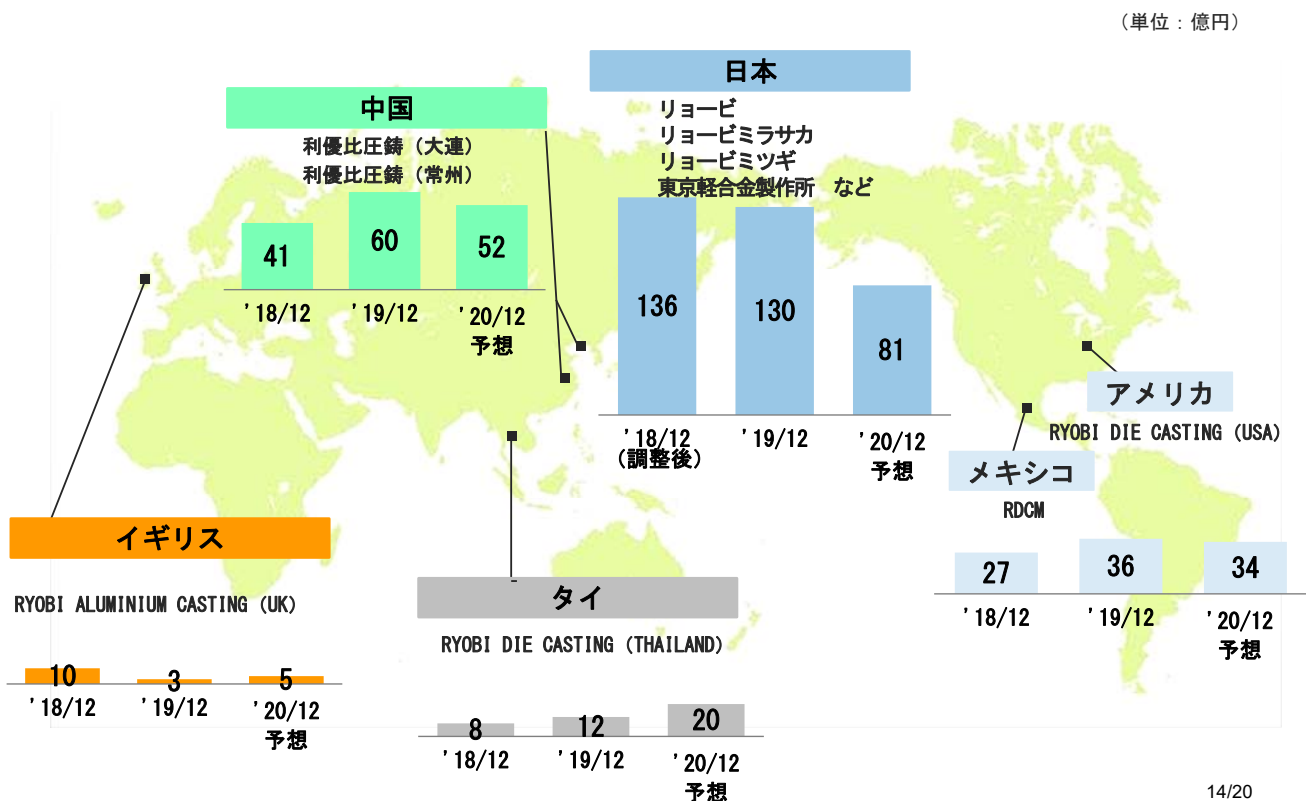
有利子負債・D/Eレシオの推移



	'16/3期	'17/3期	'18/3期	'18/12期	'19/12期	'20/12期 予想
借入金依存度 (有利子負債/総資産)	30.9%	28.2%	25.8%	23.0%	23.5%	29.5%

ダイカスト事業の設備投資 - グローバル展開

地域別設備投資実績・予想



利優比压铸 (常州)



投資内容	工場建設(床面積15,000㎡) 鑄造機3500トン1台、加工設備30台等		
着工	'19/08月	竣工	'20/07月
'20/12期 設備投資金額	'20/2月見込	'20/8月見込	上半期実績
	34億円	36億円	19億円
量産開始予定	'21/08月 (次世代車向けシャシー部品)		
製品	次世代車向けシャシー部品 従来車向けトランスミッション部品		

リョービダイカスティング (タイランド)



投資内容	工場建設(床面積8,600㎡) 鑄造機3550トン1台、加工設備6台等		
着工	'20/07月	竣工予定	'21/01月
'20/12期 設備投資金額	'20/2月見込	'20/8月見込	上半期実績
	23億円	15億円	10億円
量産開始予定	'21/03月 (従来車向けシャシー部品)		
製品	従来車向けシャシー部品 次世代車向け電動化部品		

リョービダイカスティング (USA)

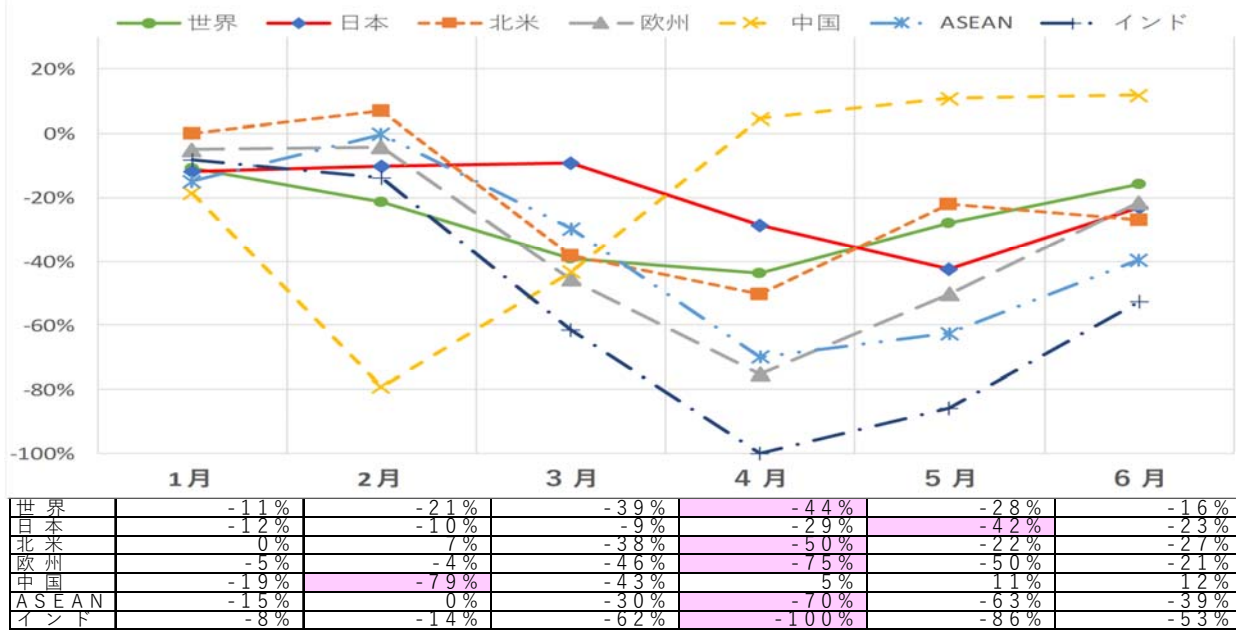


投資内容	加工設備12台、仕上設備、検査設備等		
'20/12期 設備投資金額	'20/2月見込	'20/8月見込	上半期実績
	12億円	12億円	9億円
量産開始予定	'21/01月 (従来車向けシャシー部品)		
製品	従来車向けシャシー部品 次世代車向けトランスミッション部品		

* 従来車は内燃機関車であり、次世代車はHV、PHV、EV、FCVを意味する。

3. 新型コロナウイルス感染症の影響

2020年 地域別 自動車販売実績(前年同月比)の推移(%)



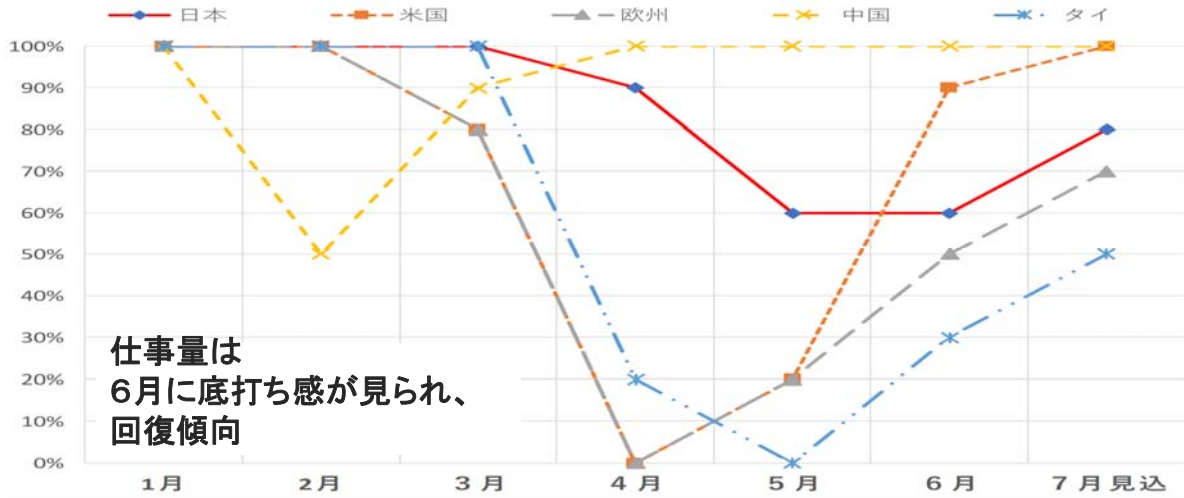
* マークラインズ7/30自動車販売速報を当社にて集計

世界:5月から回復、日本:6月から回復、中国:3月から回復、北米・欧州:5月から回復、ASEAN:5月から回復、インド:5月から回復⇒⇒⇒自動車販売は全ての地域で収束の兆しはあるが、北米、南米、インドなどで感染者が増加しており、不透明な状況。第2波の懸念。

ダイカスト事業 地域別稼働状況

稼働状況	
日本	4月～6月 17日間休業(7月～9月 9日間休業予定)
米国	3月24日から休業、5月18日から操業再開
	RDCM3月27日から休業、5月21日から操業再開
欧州	3月24日から休業、5月11日から操業再開
中国	2月3日から休業、2月12日から操業再開(RDD2/10,RDJ2/12)
タイ	4月8日から休業、6月1日から操業再開

ダイカスト事業 地域別(期首計画比)稼働率推移(%)



日本	100%	100%	100%	90%	60%	60%	80%
米国	100%	100%	80%	0%	20%	90%	100%
欧州	100%	100%	80%	0%	20%	50%	70%
中国	100%	50%	90%	100%	100%	100%	100%
タイ	100%	100%	100%	20%	0%	30%	50%

19/20

将来予測に関する注意事項

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。